

ポーランド

2020年11月9日
海外調査部・ワルシャワ事務所

2019年の貿易は、輸出が前年比5.5%増、輸入が2.6%増となり、対日輸出・輸入を含め、2004年のEU加盟以降最高額を更新した。直接投資は、対内投資は微減となったが、自動車・自動車部品をはじめとする機械分野の新規および拡張・追加の投資が好調だった。対外投資は大幅増となった。日本からの対内直接投資は自動車を含む機械分野が好調だった。

■輸出・輸入ともに増加、貿易収支も黒字に

2019年の貿易は、輸出が前年比5.5%増の2,358億3,500万ユーロ、輸入は2.6%増の2,340億2,800万ユーロとなり、ともにポーランドがEUに加盟した2004年以降の最高額を更新した。貿易収支は、前年の45億7,600万ユーロの赤字から18億700万ユーロの黒字となった。

輸出を品目別にみると、最大品目である機械・輸送用機器（構成比38.1%）は前年比7.6%増と好調だった。乗用車（2.6%）が1.5%減となったものの、電子機器（2.3%）の26.3%増、自動データ処理機械（ノートパソコンなど）（2.3%）の16.1%増、自動車部品（5.6%）の4.9%増が牽引した。機械・輸送用機器に次ぐ、原料別製品（18.1%）は2.5%増、雑製品（17.2%）は5.8%増といずれも好調だった。

輸出を国・地域別にみると、全体の約8割を占めるEU（構成比79.7%）は前年比4.3%増と好調だった。そのうち、ユーロ圏（57.4%）は4.6%増で、最大の輸出先であるドイツ（27.6%）は3.1%増だった。ドイツへの輸出の12.6%を占める道路車両は、バス（0.7%）が22.7%増、トラック（1.6%）が6.8%増と好調だったが、自動車部品（6.7%）が1.3%減、乗用車（2.8%）が2.8%減となったため、0.7%増にとどまった。EUのうち、非ユーロ圏（22.3%）は3.5%増となり、そのうちハンガリー（2.8%）が9.3%増と大きく伸びた。

EU域外で最大の輸出先であるロシア（構成比3.2%）は前年比9.9%増、それに次ぐ米国（2.9%）は10.1%増と大幅に増加した。ロシアは道路車両（8.5%）が29.1%増、発電機器（3.0%）が46.4%増、電化製品（7.2%）が12.1%増と牽引した。米国は非電気式原動機（18.1%）の15.8%増が輸出額を押し上げた。

輸入を品目別にみると、最大品目である機械・輸送用機器（構成比36.3%）が前年比7.0%増と堅調に増加した。中でも、電気通信機器（3.4%）

表1 ポーランドの主要品目別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2018年		2019年		2018年		2019年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
機械・輸送用機器	83,396	89,749	38.1	7.6	79,455	85,026	36.3	7.0
原料別製品	41,743	42,801	18.1	2.5	39,909	38,466	16.4	△3.6
雑製品	38,396	40,624	17.2	5.8	29,553	31,074	13.3	5.1
食料品および動物	24,131	25,270	10.7	4.7	15,918	16,729	7.1	5.1
化学工業製品	20,071	21,489	9.1	7.1	31,140	31,705	13.5	1.8
食用に適さない原材料	5,184	5,260	2.2	1.5	6,990	6,819	2.9	△2.4
鉱物性燃料・潤滑油	5,759	5,021	2.1	△12.8	19,235	17,878	7.6	△7.1
飲料およびたばこ	4,223	4,602	2.0	9.0	1,632	1,822	0.8	11.6
動植物性油脂およびろう	263	331	0.1	26.0	804	860	0.4	7.0
合計 (その他含む)	223,596	235,835	100.0	5.5	228,172	234,028	100.0	2.6

[注] EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

[出所] ポーランド中央統計局 (GUS)

が11.7%増、電子機器(2.0%)が19.4%増と2桁成長を記録したほか、乗用車(4.3%)も8.2%増と好調だったことによる。

輸入を国・地域別にみると、全体の6割近くを占めるEU(構成比57.2%)は前年比0.2%減とほぼ横ばいだった。最大の輸入元であるドイツ(21.8%)が1.1%減、英国(2.4%)が4.6%減となった一方、オランダ(3.7%)が5.0%増となった。

EU域外では、ドイツに次ぐ輸入相手国である中国(構成比12.4%)が前年比9.9%増と好調だった。モニター・プロジェクター(2.5%)が27.8%増、電子機器(4.6%)が19.0%増とそれぞれ2桁の伸びを記録したほか、電気通信機器(13.7%)が8.1%増となるなど、通信機器や電気機械分野が大きく伸びた。なお、ポーランドから中国への輸出額は輸出額全体の1.1%にすぎず、貿易赤字も拡大傾向にある。一方、ロシア(6.2%)は最大の輸入品目である鉱物性燃料・潤滑油(63.9%)の15.8%減により、11.2%減と大幅に減少した。

2020年上半期の貿易は、輸出が前年同期比5.3%減の4,803億8,290万ズロチ(1,097億4,680万ユーロ)、輸入が9.4%減の4,583億8,590万ズロチ(1,048億4,470万ユーロ)と、輸出入ともに落ち込んだ。特に、機械類・輸送用機器の輸出が10.4%減、輸入が14.5%減と、新型コロナウイルス感染拡大防止のための各種制限措置による3月半ばからの製造業を中心とした生産活動の低下が響いた。一方、新型コロナによる制約下でも、食品および生きた動物の輸出は7.3%増、輸入は5.7%増となり、輸出入全体のマイナス幅を緩和した。

■自動車関連を中心とした機械分野の投資が好調

ポーランド国立銀行によると、2019年の対内直接投資(国際収支ベース、ネット、フロー)は微減に転じ、133億5,500万ユーロとなった。

2019年の主な対内投資案件をみると、自動車・自動車部品をはじめとする機械分野の新規および拡張・追加の投資が好調だった。グループPSAに属するオペルのシロンスク県ティヒ工場では2019年1月、需要が高まっている二酸化炭素排出量の少ない3気筒ガソリンエンジンの生産を開始した。同グループ内の各社に供給されている。中鼎集団のドイツ子会社で自動車メーカーにエンジンやバッテリー冷却装置を販売しているトライストーン・フローテックは6月、ドルノシロンスク県バルブジフにあるプラスチック製造プラントと製造工場の拡張を完了した。さ

表2 ポーランドの主要国・地域別輸出入

(単位: 100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2018年	2019年	構成比	伸び率	2018年	2019年	構成比	伸び率
EU	180,177	187,892	79.7	4.3	134,063	133,846	57.2	△0.2
ユーロ圏	129,391	135,328	57.4	4.6	107,348	107,176	45.8	△0.2
ドイツ	63,074	65,059	27.6	3.1	51,465	50,909	21.8	△1.1
フランス	12,485	13,788	5.8	10.4	8,375	8,489	3.6	1.4
イタリア	10,306	10,812	4.6	4.9	11,719	11,668	5.0	△0.4
オランダ	10,101	10,370	4.4	2.7	8,286	8,700	3.7	5.0
スロバキア	5,790	6,146	2.6	6.1	4,116	4,196	1.8	2.0
スペイン	5,717	6,031	2.6	5.5	5,132	5,397	2.3	5.2
非ユーロ圏	50,785	52,565	22.3	3.5	26,716	26,670	11.4	△0.2
チェコ	14,257	14,420	6.1	1.1	7,860	7,757	3.4	△1.3
英国	13,947	14,124	6.0	1.3	5,567	5,312	2.4	△4.6
スウェーデン	6,232	6,590	2.8	5.7	4,154	4,089	1.8	△1.6
ハンガリー	5,960	6,514	2.8	9.3	3,698	3,852	1.6	4.2
アジア大洋州	6,291	7,228	3.1	14.9	44,184	49,110	21.0	11.1
中国	2,116	2,650	1.1	25.3	26,467	29,096	12.4	9.9
ASEAN	1,195	1,318	0.6	10.3	6,221	6,582	2.8	5.8
日本	566	669	0.3	18.2	3,615	4,453	1.9	23.2
インド	693	651	0.3	△6.0	1,803	1,890	0.8	4.8
オーストラリア	558	639	0.3	14.3	421	546	0.2	29.7
韓国	520	623	0.3	19.7	4,133	4,962	2.1	20.0
ロシア	6,763	7,434	3.2	9.9	16,277	14,447	6.2	△11.2
米国	6,147	6,768	2.9	10.1	6,482	7,594	3.2	17.2
ウクライナ	4,452	4,978	2.1	11.8	2,555	2,721	1.2	6.5
トルコ	2,519	1,939	0.8	△23.0	3,819	3,911	1.7	2.4
南アフリカ共和国	629	708	0.3	12.7	386	413	0.2	6.9
ブラジル	414	400	0.2	△3.4	1,548	1,457	0.6	△5.9
合計(その他含む)	223,596	235,835	100.0	5.5	228,172	234,028	100.0	2.6

[注] ①EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

②アジア大洋州は、ASEAN+6(日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド)に香港および台湾を加えた合計値。

[出所] ポーランド中央統計局(GUS)

表3 ポーランドの対内・対外直接投資(国際収支ベース、ネット、フロー)

(単位: 100万ユーロ)

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
対内直接投資額	13,530	16,639	10,182	14,016	13,355
対外直接投資額	4,388	12,813	3,431	1,592	3,388

[出所] ポーランド国立銀行(NBP)

表4 ポーランドの主な対内直接投資案件 (2019年1月~2020年3月)

(対内)

業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
自動車部品	グループPSA	フランス	2019年1月	2億5,000万ユーロ	ポーランド南部シロンスク県ティヒのオベル工場に追加投資し、新たに3気筒ガソリンエンジン組み立てラインを設置して稼働開始。年間46万基を生産する。
空調設備製造	東芝キヤリア	日本	2019年12月	30億円	ポーランド中西部ビエルコポルスカ県グニェズノに新たな空調・暖房・給湯機器の製造子会社を2019年12月に設立し、2020年内の製造開始を目指している。同社の欧州初の製造拠点。
自動車部品	トライストーン・フローテック	中国	2019年6月	300万ユーロ	中鼎集団のドイツ子会社である同社は、ポーランド南西部ドルノシロンスク県バルブジフにあるプラスチック製造プラントと製造工場の拡張を完了した。同工場は世界各国の自動車メーカーにエンジンやバッテリー冷却装置を製造販売している。
自動車	トヨタ・モーター・ヨーロッパ	日本	2019年9月	非公表	ドルノシロンスク県イエルチ・ラスコピツェ工場で排気量2.0リットルのガソリンエンジンの生産を開始。エンジンは同社の「カローラ」のハイブリッド車やSUVの「RAV4」に搭載される。
自動車部品	ファイアストーン	日本	2019年9月	非公表	ブリヂストンアメリカの子会社である同社は、2005年から稼働中のビエルコポルスカ県ボルシュティン工場においてエアサスペンションを製造している。同工場近くのホビエニツェに新たにロジスティックセンターを開業した。
自動車部品	ヘングスト	ドイツ	2019年11月	非公表	ビエルコポルスカ県ラビチに生産工場を新設した。同工場では自動車などに使われるフィルターを生産し、150人を雇用する予定。
建材生産	テクノニコル	ロシア	2020年3月	非公表	ドルノシロンスク県にロックウールの新工場建設を発表。2021年3月末に生産開始予定。約180人を雇用見込み。

(対内、M&A)

被買収企業 (事業)		買収企業		時期	投資額	概要
業種	企業名	企業名	国籍			
家電	ゼルマー	B&B トレンズ	スペイン	2020年1月	非公表	家電メーカーのB&B トレンズは、小型家電を製造・販売するゼルマーの買収を完了した。同社は買収により中東欧地域でのビジネス拡大を目指す。

[出所] 各社発表および報道などから作成

表5 ポーランドの主な対外直接投資案件 (2019年1月~2020年3月)

(対外)

業種	企業名	投資先	時期	投資額	概要
IT	コマーチ	イタリア	2019年7月	非公表	欧州を中心に国際展開するコマーチは、ローマに新たなオフィスを設けることを発表。ローマのオフィスではITソリューションの販売などを行う。なお、同社は2015年にミラノにオフィスを開業している。

(対外、M&A)

買収企業		被買収企業 (事業)		時期	投資額	概要
企業名	業種	企業名	国籍			
ファミコード	バイオ	アジバデムヘルスケアグループ	トルコ	2020年3月	非公表	欧州最大のさい帯血バンクであるファミコードグループは、トルコのアジバデムヘルスケアグループ内に幹細胞バンクを同グループと共同で設立。その株式の70%を保有した。

[出所] 各社発表および報道などから作成

らに、ドイツで自動車向けのフィルターなどを製造しているヘングストは11月、ビエルコポルスカ県ラビチに生産工場の新設を完了した。

ポーランド投資・貿易庁 (PAIH) が支援し実現した2019年の対内投資案件は56件だった。企業が申告した投資予定額は合計29億1,641万ユーロに上る。国別では、米国12件、ドイツ6件、日本5件、韓国5件、フランス3件、中国3件の順に多かった。分野別では、ビジネスサポートセンター (シェアード

サービスセンター) 12件、エレクトロモビリティ11件、自動車分野4件、研究開発 (R&D) 4件となった。

2019年の対外直接投資は前年から大幅に増加し、33億8,800万ユーロだった。

2019年の主な対外投資案件をみると、大手IT企業であるコマーチは2019年7月、ITソリューションの販売などを行うオフィスをローマに開設することを発表した。なお、同社は2017年に東京に日本支店をオープンしている。

■対日貿易も輸出・輸入ともに大幅増加

2019年の対日貿易は、輸出が前年比18.2%増の6億6,900万ユーロ、輸入が23.2%増の44億5,300万ユーロとなり、輸出入ともに大幅に増加した。貿易赤字は前年の30億4,900万ユーロから、37億8,400万ユーロに拡大した。対日輸出・輸入とも、ポーランドがEUに加盟した2004年以降の最高額を記録した。

対日輸出を品目別にみると、最大の輸出品目である機械・輸送用機器 (構成比48.7%) が前年比21.2%増と前年から引き続き大幅に増加した。そのうち、船舶 (7.9%) が38.0倍、自動データ処理機械 (2.2%) が3.6倍と拡大した。乗用車 (18.9%) は7.3%増であった。

対日輸入を品目別にみると、最大の輸入品目である機械類・輸送用機器 (構成比53.4%) が前年比19.3%増と顕著な伸びを示した。内訳をみると、電化製品 (3.7%) が12.7%減と落ち込んだものの、乗用車 (18.9%) が38.5%増と大幅な増加に転じたほか、自動車部品 (3.1%)

が27.7%増と好調だった。2019年2月に発効した日EU・EPAによる関税撤廃・削減が輸入拡大を後押ししたものとみられる。そのほか、化学工業製品 (15.0%) は、無機化学品 (6.8%) が22.9倍と大きく伸び、倍増した。

表6 ポーランドの対日主要品目別輸出入 (通関ベース)

(単位: 100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2018年		2019年			2018年		2019年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
機械類・輸送用機器	269	326	48.7	21.2	機械類・輸送用機器	1,994	2,380	53.4	19.3
原料別製品	110	113	16.9	2.8	雑製品	990	1,075	24.1	8.5
雑製品	73	82	12.3	13.4	化学工業製品	328	666	15.0	102.7
化学工業製品	55	62	9.2	12.0	原料別製品	200	218	4.9	8.7
食料品および動物	35	57	8.5	63.6	食用に適さない原材料	89	99	2.2	11.4
食用に適さない原材料	22	27	4.1	21.6	食料品および動物	3	3	0.1	18.0
飲料およびたばこ	1	1	0.2	2.7	飲料およびたばこ	2	3	0.1	71.7
合計 (その他含む)	566	669	100.0	18.2	合計 (その他含む)	3,615	4,453	100.0	23.2

(出所) ポーランド中央統計局 (GUS)

■日系企業は自動車関連の投資が好調

2019年の主な日本からの投資をみると、自動車分野を中心とした機械分野での投資が相次いだ。トヨタ自動車の子会社であるトヨタ・モーター・ヨーロッパは2019年9月、ドルノシロンスク県イエルチ・ラスコビツェ工場で排気量2.0リットルのガソリンエンジンの生産を開始した。エンジンは同社の「カローラ」のハイブリッド車やコンパクトSUVの「RAV4」に搭載される。ほかにも、ブリヂストンの系列会社でエアサスペンションを製造するファイアストーンは9月、同社工場のあるビエルコポルスカ県ボルシュティン近くのホビエニツェに新たにロジスティックセンターを開業し、欧州における同社製品の需要の高まりに対応している。自動車分野以外では、空調機器などを製造する東芝キヤリアが12月、ビエルコポルスカ県グニエズノに新たに製造子会社を設立した。約30億円投資し、2020年内の製造開始を目指している。2020年に入ってから、粉体処理システムの製造などを行うホソカワミクロンのグループ会社であるホソカワアルピネが3月、ワルシャワ市に現地法人を設立し、粉体およびプラスチック・フィルム関連装置の販売を開始した。

主要経済指標

	2017年	2018年	2019年
①人口：3,838万人（2019年）			
②面積：32万2,719km ²			
③1人当たりGDP：1万5,595米ドル （2019年）			
④実質GDP成長率（%）	4.9	5.1	4.1
⑤消費者物価上昇率（%）	2.0	1.6	2.3
⑥失業率（%）	6.6	5.8	5.2
⑦貿易収支（100万ユーロ）	1,426	△4,782	2,415
⑧経常収支（100万ユーロ）	290	△5,046	2,477
⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル）	108,975	111,656	117,196
⑩対外債務残高（グロス） （100万ユーロ）	319,716	314,642	311,980
⑪為替レート（1米ドルにつき、 ズロチ、期中平均）	3.78	3.61	3.84

〔注〕 ⑦⑧：国際収支ベース、⑦：財のみ
 〔出所〕 ①②④⑤⑥：ポーランド中央統計局（GUS）、③：世界銀行、⑦⑧⑩：ポーランド国立銀行（NBP）、⑨⑪：IMF

（お問い合わせ先）

海外調査部 欧州ロシアCIS課

ORD@jetro.go.jp